

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 小森江 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 15.96 | 19.46 | 33.88 | 40.89 | 47.94 | 9.46 | 150.93 | 21.06 | 53.02 |
| 本市 | 16.16 | 19.89 | 34.46 | 41.16 | 50.80 | 9.47 | 152.45 | 22.02 | 54.09 |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 15.61 | 18.36 | 38.15 | 38.70 | 36.85 | 9.77 | 142.34 | 13.11 | 53.97 |
| 本市 | 15.73 | 18.70 | 38.63 | 39.23 | 39.35 | 9.75 | 144.11 | 13.51 | 54.98 |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

| 質問調査の結果分析 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が、運動が好きである。 ・体育の授業を楽しんでいると感じたり、進んで体育の学習に臨んだりすることができている。体を動かしたり、様々な運動を行ったりすることで体育の授業を楽しんでいると感じることができている。 ・運動やスポーツをすることにに対しては多くの児童が興味をもっているが、みること、支えることになると興味をもつ児童が少なくなっている。 ・学校の体育の授業以外で、1日に運動やスポーツを行っている児童の割合が少ない。 |

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ランタイム(持久走)やびんびんタイム(大縄)など、体力を高めるための取組をできる限り継続して行う。 ・アンケート結果から、できなかったことができるようになった時に、体育科の学習に楽しさを感じる児童が多かった。また、体育科の授業が楽しくなるために自分にあった場やルールがあったら楽しくなりそうだという意見もあった。体育科の学習において、「好きちゃプログラム」のさらなる活用を図り、達成感を味わうことができるようにしたり、場の工夫を行い、運動に積極的に取り組めるようにしたりする。 ・体育科の学習において、友達への補助をしたり、グループで話し合う場面を設定したりするなど、友達とかわる場面をつくることで、みること、支えることに興味をもつことができるようにする。 |
|---|

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会が様々な運動を紹介したり、イベントを行ったりすることで、外遊びの習慣づけを図り、運動に親しむことができるようにする。 ・体育委員会等が行っている取組を保護者に発信することで、学校が行っている取組について理解を得ることができるようにする。 |
|---|